

## 三杉川の住人たち ～

## ライギョ・ナマズ・フナ



巨大なライギョ



ナマズが5匹(大漁)



ナマズとフナ

**5月3日の大雨の後**、三杉川の流域ではちょっとした異変が起きていた。川が増水したため、川とつながる小さな水路も水で溢れていたのだ。そのため、数多くの魚が**水路を遡上**し、水が引いた後の水路は魚たちでひしめき合っていた(5月5日)。

まずは、**ライギョ**(種名はカムルチー)。東アジアに分布するが、日本へは1920年代に朝鮮半島から移入された外来種である。食性は肉食性で、昆虫類、甲殻類、小魚、カエル、ときには鳥の雛やネズミなどの小動物など幅広く捕食すると言われている。見るからにどう猛な魚という感じである。エサを求めての遡上だろうか。これまでに、たまにワナにかかることがあったが、5月5日は一つのワナに2,3匹入っていることも珍しくなかった。

続いて、**ナマズ**。1つのワナに最高で5匹入っていた。お腹が大きく、卵を持っている雌が多かった。産卵のために水路に遡上してきたのかもしれない。

そして、**フナ**。キンブナやギンブナ、ゲンゴロウブナなどがあるらしいが、魚にも詳しい生物部の部長によると、分類はかなり難しいので写真からでは判断できないそうだ。

この日はカメよりも魚の活動の方が活発だったようである。



ミシシippアカミミガメの赤ちゃんもいたぞ